

創立六十周年記念

都小音研

平成29年11月25日第60巻425号

発行所
東京都小学校音楽教育研究会

事務所
東京都渋谷区幡ヶ谷3-49-1
渋谷区立中幡小学校

創立60周年記念号

つながる 深まる 音楽する喜び



目 次

会長挨拶	早川修一	1
来賓挨拶		2
文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官	津田正之	
東京都教職員研修センター研修部 教育経営課統括指導主事	村上卓郎	
歴代会長メッセージ		3～5
第十一代会長 柳田秀武		
第十二代会長 渡邊陸雄		
第十三代会長 菅野英二		
第十五代会長 伊藤俊彦		
第十七代会長 嶋英治		
第十八代会長 太田真也		
第十九代会長 森島徹		
第二十代会長 豊田美代子		
都小音研の研究活動について		6
この10年を振り返って		7
各部の活動紹介		8
都小音研沿革史		9～19
研究主題・大会主題 この10年		20
総武ゾーン大会案内		21
学お理事会・NHK 全国学校音楽コンクール結果		22
平成29年度全日本音楽教育研究会全国大会（沖縄大会）		23
ゾーン代表者会議報告・理事会報告		24



あいさつ



東京都小学校音楽教育研究会
会長 早川 修一
(練馬区立向山小学校長)

この度東京都小学校音楽教育研究会創立60周年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

東京都小学校音楽教育研究会は、都音研、日音研、多摩音研が一つにまとまって、昭和33年10月16日に設立され、今日に至っております。この間、文部科学省をはじめ、東京都ならびに各市区町村の教育委員会、関係諸団体、賛助会員の方々より、多大なるご指導とご支援をいただくとともに、数多くの先輩の先生方による計り知れない努力により、今日まで発展を続けて参りました。

その研究活動の足跡は、まさに日本の音楽教育の歴史であるとも言えましょう。そして、その中で私たちが音楽で学んできたことを考えますと、その歩みの大きさと同時に、私どもが担う職務の重さと尊さを感じざるを得ません。

私が小学生の頃は、低学年の時はハーモニカを習いました。鍵盤ハーモニカはまだ高価なものであり、中学年ぐらいになってから、学校備品としてある共用のものを使った記憶があります。リコーダーも、今のように足部管が分かれるものではなく、ずいぶん質もよくなかったように思います。また、私が育ったのは東京ではなかったため、小学校には音楽専科の先生もおらず、小学校の音楽の授業の記憶といえば、歌を歌う、ハーモニカを吹く、リコーダーを吹く、レコードを聴くぐらいで、あまり印象に残っていません。当時の担任の先生には失礼ではありますが、今東京都で行われているような音楽の授業とは程遠いものではなかったかと記憶しています。

私が東京都で教員となった頃は、まだ音楽室に足踏みのデスクオルガンがずらっと並んでいました。アナログシンセサイザーからデジタルシンセサイザーに変わる頃で、学校の音楽室に電子楽器が登場するのは、教員になってから数年後だったと思います。レコードがCDになったり、レーザーディスクが開発されたりしたのも、教員になってからでした。

この60年間で、社会情勢が大きく変わり、技術も格段に進歩し、音楽教育も一層充実したものになってきました。学校で音楽教育を受けた子供たちは、将来日本の音楽文化を支える担い手となっていきます。その子供たちに、どんな時代が変わっていかうとも必要となるような力をつけるのが、私たち教職に携わる者の職務です。

私たちは都小音研創立60周年を新たなスタート台とし、音楽教育の更なる発展と豊かな音楽文化の実現に向けて、全力を尽くして参りたいと思います。

最後になりましたが、これまで多大なるご指導とご協力を賜りました文部科学省をはじめ、東京都教育委員会、各市区町村の教育委員会、関係諸団体、賛助会員の皆様に対し、心より御礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。また、都小音研発足以来その発展に尽くしてこられました先輩の先生方に、心より敬意を表し感謝を申し上げますとともに、これからもご指導賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。



お祝いのことば

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 津田正之

この度、東京都小学校音楽教育研究会が、創立60周年を迎えられることに際し、心からお祝い申し上げます。東京都小学校音楽教育研究会では、これまで各市区町村単位において、授業研究、実技研修、教材研究などを行うとともに、地区の実情に即して音楽鑑賞教室や連合音楽会などを実施されてきました。13のゾーンによる広域研究では、毎年、各地区の特色を生かした都小音研大会が開催され、都小音研の研究成果を広く公開し、各ゾーンの研究を交流する場となっています。さらに、会員による自主的な各種研究会を組織し、現在10の研究会が毎月の定例研究会や全会員対照の研修会や研究発表会を企画・運営されています。このように都小音研の取組は、その内容と広がりにおいて特筆すべきものがあります。

学習指導要領が「試案」から「告示」となった昭和33年に発足した東京都小学校音楽教育研究会は、その時々の学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた実践研究の先導的な役割を果たしてこられた歴史があります。記憶に新しいところでは、平成26年に開催された全日本音楽教育研究大会全国大会において、全国に先駆け、義務教育9年間で俯瞰した音楽科のカリキュラムを提案され、その提案は全国各地の音楽教育関係者から高い評価を受けました。

創立60周年を迎える今年、平成29年告示の学習指導要領が告示された節目の年となります。本研究会が、これまでの優れた研究や研修の取組の実績の上に立ち、次代の子供たちのために、優れた教育実践の地平を切り拓いていかれることを心からご期待申し上げて、お祝いのことばとさせていただきます。



東京都小学校音楽教育研究会の創立60周年に寄せて

東京都教職員研修センター研修部

教育経営課統括指導主事 村上卓郎

東京都小学校音楽教育研究会の創立60周年、心よりお祝い申し上げます。

東京都小学校音楽教育研究会は、昭和33年10月の発足以来、歴代の会長をはじめ、役員のみなさまの御努力と会員の方々の意欲と熱意によって、今の東京の音楽教育を支える多くの活動を創出されてきました。東京都内を13ゾーンに分け毎年行われる研究大会、10を数える各種研究会による研究活動の充実など、絶え間ない諸活動が、音楽科の先生方の専門性向上に多大な影響を与えていると考えております。特に、音楽科の先生は校内に一人の学校が多いと伺っております。このような中、一人一人の先生方が仲間と共に学び続ける機会を得て、主体的に授業改善を図ることができることは誠に有意義であります。

また、60周年を迎えられる本年においては、新学習指導要領改訂の時期とも重なります。今回の改訂では、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することが示されています。まさに東京都小学校音楽教育研究会60年の歴史が、学校教育の実践や蓄積そのものであると言えます。さらに、東京都小学校音楽教育研究会は、東京都教職員研修センターの教育研究普及事業（教科等の研究団体が実施する研究会）の認定を受け10年の節目となります。平成29年1月策定の東京都教育施策大綱では、「子供たちの学びを支える教師力・学校力の強化」が謳われており、音楽科においても教員の指導力向上の取組が求められています。

今後とも東京都小学校音楽教育研究会がますます発展され、東京都の音楽教育の更なる活性化と充実のために寄与されることを御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



創立60周年を祝して 第十一代会長 柳田 秀武



都小音研の創立60年を迎えることは、何と意義の深いものだろう。「人が組織をつくり、組織が人を育てる」都小音研活動は、まさにその言葉どおりである。

当時のことを思い浮かべると、東京には「都音研」「日音研」「多摩音研」と、それぞれに研究活動をしていたが、東京を一つにまとめたいという要望が高まり、それぞれに働きかけ、「東京都小学校音楽教育研究会」が誕生することとなった。まとめるにあたり、その任を担った私は、立川・八王子の当時の役員の方のところに出向いて度々話し合ったことを思い出す。今はスカイツリーのある墨田区、その業平小に当時勤務していた私は、充実した組織をつくるために、音楽教育に情熱を燃やした仲間と話を進め、「東京都小学校音楽教育研究会」という一本化した組織を生み出した。“人を育てる組織”まさにそのとおりの都小音研の誕生であった。

その頃の仲間はほとんどいなくなり、語る友もなく寂しいものである。しかし現在都小音研の活動は素晴らしい、東京はもとより、全国のリーダーとしての活動は立派なものである。創立60年の意義を改めて感じている。

これから先も、全国のリーダーとしての役割は大きいものである。都小音研60年の重さをかみしめ、一層の発展を願って、創立60周年のお祝いの言葉としたい。



活きてる 都小音研 第十二代会長 渡邊 陸雄



創立60周年を迎え心からお祝い申し上げます。最近の都小音研は益々の活気を帯び温かさも伝わってきます。私の手許には、いつも「都小音研」が送られてきて、その動向が読み取れるし、また常任理事会のお知らせもきます。退職して30年も経ち忘れ去られているはずなのに、この心温かさは他の団体ではとても考えられません。私は大きな“絆”を感じます。

今思い出してみると、色々な喜び・苦悩・珍事もありました。中でも最も印象的だったのは、豊島区立目白小学校の全国大会でした。私の知らないうちに「大会会場は目白小学校」として、組織づくりや授業者・講師などを決め進めていました。全国大会という大きな大会を自校でやることの大変さは、私は知っているので「できるはずはない」と強硬に反対。でも役員は私の話に耳を貸しません。身動きできなくなった私は「やる！」と腹を決め、「夜打ち朝がけ」……その日の夜と次の朝、会長以下役員全て揃って、校長と教頭の家にお願ひに行きました。そして“命がけ”で職員会議に提案、何とか了解を得ました。全国大会は3000人も集まり役員の嬉しい狼狽ぶりを想像してみてください。これも都小音研の功績です。

そして現在！時間数は減りましたが、活動は以前より切実感があります。特に各種研究会とゾーン大会を中心としてめざましい活動が本当に嬉しいです。今後の発展を祈ります。



創立60周年を祝して 第十三代会長 菅野 英二



創立60周年おめでとうございます。

先輩の先生方が音楽教育の向上を目指して子供たちの感性や能力を育て、生涯をとおして音楽を愛好する心を育むと共に、自らの成長を求めて各種研究会や広域的地区研究会を組織し、その時々の課題を的確に捉え、共に話し合い学び合い、解決への道を歩んできた歴史を受け継がれた会員・役員の皆さんに支えられ、今日を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

新しい時代に即した教育の理念の学習指導要領が示されました。教育を巡る環境は年々厳しくなっている中、子供たちの幸せを願って、共に話し合い学び合い、解決への道を見い出し、輝かしい〔都小音研〕の歴史のページが積み重ねられますものと信じております。

〔都小音研〕の益々のご発展をお祈り申し上げます。



祝 60周年「都小音研」の更なる発展を願って

第十五代会長 伊藤 俊彦



都小音研が今年度、創立60周年という輝かしい歴史を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。おめでとうございます。60年という長い歴史を振り返ると、そこには、様々な艱難辛苦を共にした役員の皆様や理事の皆様、会員の皆様、そしてそれを力強く支え応援して下さった文部省（現文部科学省）及び東京都教育委員会をはじめ、区市の教育委員会の先生方、関係団体の皆様、賛助会員の皆様など、多くの皆様方が温かく関わって下さった姿が想像できます。

お陰様で私は、都小音研にお世話になった昭和45年から現在に至るまで、実に多くの方にご指導を頂きました。特に印象に残っていることは、私が庶務部員であった頃に先輩から「置かれた立場で一生懸命に仕事をする事、そして、今日自分がしようと思うこと、今、自分がしなくてはいけないことに没頭し、明るく元気に『今』を生きること。」ということでした。

幸いなことに、現在都小音研でご活躍をされている皆様は、組織の中で個々の力を十分に発揮されながら、研究と運営という2つの仕事を立派に果たし、困難な状況を乗り越えてくださっていると伺っています。「人は練磨により仁となる（道元）」の教えにもありますように、これから先も自分磨きと組織の発展のために益々ご尽力くださることを願っています。



創立60周年の重み

第十七代会長 嶋 英治



都小音研が創立60周年という大きな区切りを迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。10年ごとの“周年”は来し方を振り返り未来を見つめる貴重な節目であることは申すまでもありません。先輩方のその時々への思い積み重ねが都小音研を創りその歩みを受け継いで今があること、その意味と重みを私も50周年の時に強く感じました。

10年前を思い起こすと、学校はその前の10年から始まった教育改革の大きな流れに激しく揺さぶられながら、社会の多様な変化への対応を求められていました。教員の業務の多忙化が始まり、音楽専科もその例外ではありませんでした。そうした状況の中でも都小音研を支える先生方は、所属校の仕事を十分に果たした上で都小音研の運営に携わり、教育研究団体としての大きな成果を上げてきました。その姿には頭が下がるばかりでした。しかし、そうした姿は10年前だけがそうだったのではなく、それまでの先輩たちも辿られた姿であったろうと思います。それが都小音研の60年の確かな歩みを創ってきたと確信します。

社会も行政も教育内容も時代とともに変わります。その時々への課題に向き合い先人の姿にも学びながら「音楽する喜びを子供たちに届ける」役割を担っていく都小音研のますますの充実・発展を祈っております。



音楽に寄す

第十八代会長 太田 眞也



都小音研の創立60周年、誠におめでとうございます。

これまで多くの先輩の先生方による重なる努力が、小学校音楽科教育を享受した子供たちのその後の人生において、音楽との関わりを支える糧となってきたことでしょう。

「汝、優しい音楽よ、私はお前に感謝している。」と結ばれるシューベルト作曲の「音楽に寄す」という歌があります。

人間と音楽との関わりは様々ですが、音楽が心のよりどころとなり、時に勇気を与え、ある時は潤いを与え、新たな世界へと導いてくれたことでしょう。音楽の力は容易に語り尽くせないものだと思います。

私は、現在中学校で夕方から夜までの見回りをしておりますが、部活動中に校舎に入りますと、ある部屋からは吹奏楽の演奏が、別の部屋からは箏の調べや合唱が聴こえてきます。授業を参観したことはありませんが、学校の音楽はだいぶ変わってきたように感じられます。

しかし、音楽科教育の状況がどのように変わっても、その根幹は変わっていないように思います。子供たちを囲む環境が変化しても、いつまでも音楽を愛好し続けるような音楽の経験を積み重ねていけるよう、都小音研の更なる発展と先生方のご活躍を心から願っております。



60周年、おめでとうございます。

第十九代会長 森 島 徹



さまざまな節目の時に「脚下照顧」(きゃっかしょうこ)という言葉が思い出されます。禅宗の言葉で、有名なところでは京都の南禅寺の玄関に大きな札で書かれています。静かで寂しい山寺の玄関に思い出したようにぼつんと小さい札が置いてあることもあります。寺に務める方に意味を尋ねると、「自らの足下を見て自らを省みよ、ですよ」との教え。以来、節目の時に自然に思い出す言葉になりました。この原稿の依頼をいただいた時に思ったことは、60年という歩みは、おそらく様々なことがあったのだろうなという思いであり、しかし「子供たちに音楽を」の一念で研究の火を絶やさなかった先人のご苦勞です。これは並ではなかったのではないのでしょうか。60周年というこの節目に、それぞれが脚下照顧、授業を振り返り、道を開拓してくださった先人に感謝する。そんなきっかけ、ひとときになればと思います。

加えて、この会は多くの常任理事の方のお仕事に支えられて成り立っています。それぞれの部に10人ずつ、お一人10年やって頂いたとして60年間500人近い先生方の支えによって成り立っていることへの感謝(手弁当なのです)を加え、お祝いの言葉にさせていただきます。60周年おめでとうございます。



都小音研の60周年に思う

第二十代会長 現名誉会長 豊 田 美代子

(荒川区立第二瑞光小学校長)



東京都小学校音楽教育研究会創立60周年に、その一員として関わることができることを、大きな喜びと感じております。

私は勤務する荒川区にゾーン大会の順番が回ってくるのがわかった頃、役員仲間に入れていただき、自分自身が音楽専科としてゾーン大会に関わった時とは違った思いで、改めて学ぶ機会をいただきました。諸先輩の様々な熱い思いから「都小音研」という組織が生まれ、研究を都全体により行き渡らせることができる「ゾーン大会」の仕組みを作り上げ、それが今日に引き継がれていることを、大会の度にご苦勞なされた先輩方からうかがい、私もその度に身の引き締まる思いです。そして、ゾーン大会や全国大会等、研究を進めるエネルギーや運営にあたるための心配りなど、本部役員や会員の皆様のパワーに心から感謝しています。

この記念すべき60周年を迎えるにあたり、50周年の記録を振り返ってみると、やはりその時にも新学習指導要領について語られている場面がありました。10年に一度、学習指導要領の改訂が行われるタイミングが、都小音研の周年という大きな節目と重なるのです。今回の改訂に当たっては、教育課程企画特別部会で、各教科を越えたワーキングチームで検討されたそうです。全ての教科等を、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で再整理し、「何ができるようになるか」という学習の意義を共有できるようにすることが重要となります。また、「見方・考え方」を鍛え、子供たちの発達を支える指導のさらなる充実にも重きを置いていることがわかります。三つの柱も重点も、3月に配信された資料を読んでもみると、どれも音楽をとおして育むことができる力だと私は確信しました。

ちょうど、平成27年夏に中間報告のような形で「論点整理」が示された時、私たちは「音楽教育で子供たちがどのように変容するか」「保護者はどう考えているか」を真摯に受け止め、切磋琢磨し指導を充実させることが大切だと捉え、保護者の皆様の日常的な声を各校で行っているアンケート等で集めさせていただきました。その際には各地区の理事さんのご尽力のお陰で、幅広いご意見がたくさん集まり、充実した資料となりました。そのご協力に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

各地区の理事の皆さんがパイプ役となることで、1400名を越える会員の皆様と情報を共有し、都小音研は充実した活動を展開することができています。子供たちに育みたい「人と関わる力」は、音楽をとおしてより豊かに育むことができるものです。私たちはそのことに誇りをもって、これからも子供たちと成長していきましょう。また10年、70周年に向けて。

都小音研の研究について

研究部長 石井 ゆきこ (港・芝小学校)

研究主題 「つながる 深まる 音楽する喜び」

1 研究主題について

本研究主題は現行学習指導要領に基づき、平成21年度より設定されました。一つには、人とのつながり、音楽とのつながりの中で、子供が音楽的に深まり、人間として豊かに育ち、音楽を聴いたり表現したりする喜びをもつことができることをねらいとしました。これは、今を生きる子供が、今を大切に仲間と共に豊かな人間関係を築き、共に音楽を楽しむことができる姿を求めています。もう一方、こうした経験を積み重ねることによって、一人の子供が生涯を通して音楽の学びをつなげ、音楽に親しみ続けてほしいと願っているものでもあります。

音楽とつながり、音楽的に深まるためには、子供たちが音楽に対して思いや願いをもっていることが重要です。そのための教材選択や教材との出会い、その思いを音楽で表現したり、思いをもって音楽を聴いたりすることができる指導計画や指導過程の在り方、音楽をつくり上げる指導の組み立て方などを研究することとしました。また、〔共通事項〕を意図的・計画的に指導の積み重ねの中に位置付けることの効果にも注目し、研究を進めています。このように、音楽的・人間的な成長を促す音楽科授業を追究してきました。

2 研究の概要について

(1) 各地区の研究

都小音研の研究活動の中心となるのは、各区市町村単位の研究です。各地区単位で研究主題を設定し、授業研究、実技研修、教材研究等を行っています。また、各地区の実状に即して音楽鑑賞教室、連合音楽会、研究発表等を実施しています。

(2) ゾーン研究

ゾーン研究は、昭和56年度に始まって以来、順次都小音研研究大会を開催し、各地区の交流による研究の深まりを期待し進められてきました。

各ゾーンの特色を生かして企画・実施しています。編成に当たっては、各地区の校数に配慮し、隣接の地区をまとめて一つのゾーンとし、全都を13のゾーンに分けて広域研究を実施しています。

平成29年度研究大会は、総武ゾーン（墨田区・江東区・江戸川区）で実施します。“学びの意味や価値を実感しながら主体的に音楽の学習に取り組む子”“友達と学び合って考えを深め、豊かな表現を求める子”の育成を目指し、大会主題「つなげる見つける 私たちの音楽」を設定しました。

(3) 各種研究会

各種研究会は都小音研会員による自主的なグループ研究が発足・継続・発展し、組織されたものです。現在10の研究会が研究会員対象の毎月の定例研究会や全都の都小音研会員対象の研修会、研究発表会を企画・運営しています。内外から著名な講師を招聘し、各研究会の特色を生かした理論的・実践的な研究が繰り返し広がられています。

3 今後の研究について

平成29年3月に新学習指導要領が告示され、これまで以上に、「音楽は自分にとって大切な存在」「音楽を学んだことが生活に役立つ」という実感をもてるような授業が求められています。

子供が自ら「音楽とのつながりを深めよう」「音楽で友達とつながろう」「音楽を生活に生かそう」と主体的、協働的に学び、学びの深まりを実感し、音楽活動をする喜びを深めてほしいとの願いをこめ、新研究主題「つなげよう 深めよう 生かそう 音楽を」を設定しました。音楽を形づくっている要素の働きを実感を伴って理解し、表現や鑑賞に生かす学習、学びを深める対話的な学習、学びの深まりを図る指導と評価を充実させる研究を進めていきます。

都小音研の研究 この10年を振り返って

副会長(前研究部長) 川上 真珠美
(瑞穂町・瑞穂第一小)

都小音研創立60周年、おめでとうございます。

この10年を振り返って、というタイトルで依頼されたのですが、私と「都小音研の研究」の原点は、今から21年前に行われた島嶼ゾーン大会まで遡りますので、少しその頃に触れたいと思います。

26年前、私は東京から290km離れた八丈島の小学校に勤務しておりました。島の生活にも慣れた5年目のこと、その頃の副会長でいらした渡辺信夫先生からお電話をいただきました。「ゾーン大会を島嶼でぜひやりたいのです」恥ずかしいことですが、私には、都小音研もゾーン大会も全く意味不明の言葉でした。そんな私に、丁寧にご説明くださり熱い思いを語られました。当時の八丈島には小学校が5校ありましたが、私以外は新規採用の先生方でした。普通に考えたら絶対に無理なことですが、知らないこととは恐ろしいもので、引き受けてしまったのです。なぜなら、素晴らしい講師陣をいくらかでも派遣し指導するから心配ない、と言われたからなのです。そのお約束通り、たくさんの講師の先生が、手弁当で何回も足を運んでくださいました。今考えると、あり得ないほど恐れ多い先生方ばかりでした。指導案の書き方から授業、演奏、集会の指導法、時には自ら子供たちをご指導してくださいました。そして教師として人としての生き方まで学ばせていただき、それはそれは贅沢な時間でした。こうして研究の在り方や音楽科の指導法を学ばせていただき、今日の私があるのです。当日は天候不良の中、伝説の大会となりましたが、都小音研の皆様を支えられ無事終えることができました。いつか自分もゾーン大会を成功に導ける一員として働きたいと思ったのもこの大会を経験したからこそです。

さて前段が長くなってしまいましたが、平成21年度に指導要領が改訂になり、基本理念は変わらないものの〔共通事項〕の新設、音楽づくりや鑑賞指導の充実、我が国や郷土の伝統音楽、そして言語活動の充実といったことが示されました。それに伴い、大会指導案の内容もかなり変わることになり、全国大会を通じて研究の必要性を感じました。

研究部長として初めて関わったのは中央Bゾーン大会です。企画会6人のチームワークがととてもよく、活発に研究が進められ、非常に思い出深い大会となりました。次の東武ゾーン大会、研究に関してはゾーンの先生方中心にしっかり進められていたので安心でしたが、学校数が多く、まとまりのある研究を進めることの大変さを実感しました。そして青梅ゾーン大会、東京都の3分の1という広大な地域に66校、若手教員の育成を主眼に置き、地域を超えて分科会を構成し研究を進めました。また26年度にはイレギュラーな形で全国大会小中部会大会が行われることになり、校種を超えて連携することの難しさを感じましたが、中学校へ学びをつなげることの大切さも学ぶことができました。

私は21年前の大会を通して、研究し学ぶことの楽しさを知りました。人工知能が人間にとって代わることが多くなっている今こそ、諸先輩方が作り上げてくださった都小音研を大切に、仲間と語り合い、学び合い、子供たちのために頑張りたいと思っています。

都小音研 ってこんなことやってます

～各部のお仕事紹介～

理事会・常任理事会

理事会は、各地区より2名ずつ選出された理事、役員と常任理事が集まり、年間9回行っています。内容は、役員と常任理事からの提案・連絡事項に関する協議や質疑、理事同士の情報交換です。都小音研の研究大会や研究会、10ある各種研究会に関する情報交換、伝達の場合でもあり、会の運営上極めて重要な会です。会報、名簿、各種予定や案内などもこの会で配布され、理事より各地区の先生方に配布されます。

常任理事会は、役員と常任理事が集まり、年間11回行っています。理事会提案事項の協議、総会・研究大会などに向けての打ち合わせをしています。会の効率的な運営により、限られた時間の中で、充実した会になるようにしています。

庶務部

庶務部では都小音研の円滑な研究・事業の進行を図り、理事長・事務局と連携した活動を行っています。

都小音研全体の年間事業計画を立案し、出張依頼書、会場（物品）借用書、講師依頼状、JASRACへの申請手続きなどの各種文書作成・発送を主に行っています。都小音研総会やゾーン大会などにおける表示、受付業務、他地区への協力依頼や運営組織表など、ゾーンの先生方に寄り添い、研究大会がスムーズに進むよう運営面においてお手伝いをさせていただいています。

都小音研を築かれてこられた諸先輩方の知恵と実績を大切に守りつつ、都小音研会員のパイプ役として、今後とも力を尽くしていきます。

部長：根本 薫子（新宿区・花園小） 部員：梅津 直子（新宿区・富久小）
副部長：安部 香葉（江戸川区・第六西小） 森本 香（江東区・第二亀戸小）
鈴木 麻子（新宿区・基合第一小） 石倉 朋美（北区・西が丘小）
平松 佳子（小平市・学園東小）

会計部

会計部では、金銭に関わる仕事を部員7人で分担して行っています。東京都小学校教育研究会連合からいただく活動費を正しく計画的に執行するよう努め、予算案・決算報告書は総会で会員の皆さんにお示ししています。

また、研究大会では、研究集録書や報告書、配布するチラシ用紙や楽器の輸送、児童の交通費など、会全体のこまごました必要経費があります。ゾーンの皆さんに協力していただき、限られた予算内で運営できるようにしています。研究会当日は、受付を庶務と連携して行い、研究大会の運営を支えています。

皆さんの活動を支えていけるように部員一同、声を掛け合って活動していきます。

部長：桑畑 多恵（三鷹市・高山小） 部員：高杉 恭代（千代田区・麹町小）
副部長：武内 正子（豊島区・さくら小） 越智 彩香（江東区・第二船場小）
松丸 春美（板橋区・緑小） 末永 亜由（国分寺市・第四小）
白田 友加（江東区・東川小）

事業部

事業部では主に2つの仕事を行っています。
【児童作曲コンクールの運営】

①課題詩の選定・応募要項作成、配布 ②審査前、審査後の作品の整理 ③作品集編集 ④授賞式、作品発表会の準備、式当日の進行

今年度54回となる歴史ある作曲コンクールとなりました。小さな作曲家の思いが詰まった作品を、審査員の先生方に依頼を通して大切に扱っています。今後も多くの作品をお待ちしています。

【ゾーン大会、全国大会における楽器輸送・会場舞台係】

①研究授業会場や控室の割り当て ②会場からの借用物品、学校からの持込み物品の把握 ③授業会場、演奏会場の把握 ④授業会場や研究演奏のセッティング、片付け

ゾーンの研究大会では、研究授業や研究演奏が充実したものになるように、円滑な進行やゾーンの皆さんのサポートに努めています。

部長：藤井小百合（定立区・花保小） 部員：青木八津子（世田谷区・中里小）
副部長：井上 奈々（世田谷区・尾久第六小） 伊藤 友真（江戸川区・下藤田西小）
藤田 秀男（江戸川区・葛西小） 上野 智子（小平市・花小金井小）
鈴木理栄子（定立区・沼江小） 田原美奈子（船江町・船江第三小）
部員：毛木 大介（江東区・奥香小） 森田 尚子（東久留米市・第三小）
齋藤奈津子（目黒区・月光原小）

研究部

都小音研では「つながる 深まる 音楽する喜び」を研究主題として、児童の音楽的・人間的な成長を促す音楽科授業を追究する研究を進めてきました。都小音研には都内を13の地区に分けたゾーン、自主的に専門的な研修を行う10の各種研究会があります。研究部はそれらと都小音研のパイプ役を担っています。代表者会議を開催して相互の情報交換を行う他、研究大会での研究を支援し、開催に向けての計画や準備に携わっています。また、総会での公開授業、学友理事会の実技研修会など、全都から気軽に参加できる研修の場を提供してきました。現在、新教育課程の趣旨を音楽科の授業で実現する研究内容を検討しています。

部長：石井ゆきこ（港区・芝小） 部員：田村 泉（大田区・南六郷小）
副部長：前田しのぶ（豊島区・池袋本町小） 川島 萌子（世田谷区・松沢小）
中山 純子（板橋区・板橋第五小） 佐々木 睦（世田谷区・希望丘小）
森平 各子（日野市・旭が丘小） 原田 雄一（渋谷区・富谷小）
部員：長尾 静代（中央区・中央小） 窪野 朋昭（葛飾区・中之台小）
野崎 幸枝（中央区・日本橋小） 湊 りか（八王子市立第四小）

調査部

調査部では、主に3つの仕事を行っています。

①都小音研の名簿作成 ②各市区町村の行事や行事についてのまとめ ③ゾーン大会の児童輸送です。①、②では、各地区の理事の先生にご協力いただき、進めています。ゾーン大会では、授業や演奏で参加する児童が、安全に安心してその時間に臨めるように、様々な調整をしています。調査部として集まるのは年に数回ですが、今年度も12名楽しく活動しています。

部長：根本 悦子（立川市・柏小） 部員：小森かほる（青梅市・藤枝小）
副部長：小室 有香（小平市・小平第七小） 掛川 美穂（青梅市・吹上小）
南部 直子（葛川区・第二堤元小） 庄司 美帆（小金井市・小金井第一小）
野崎 真理（文京区・汐見小） 石田 綾菜（日野市・日野第三小）
部員：奥村 有純（目黒区・油面小） 佐藤祐理香（国分寺市・第五小）
原田 寛子（武蔵野市・井之頭小） 伊藤真美子（東久留米市・第七小）

広報部

広報部は、①会報「都小音研」の発行（年5回）②都小音研の行事（総会、学友理事会、作曲コンクールなど）の写真や映像の記録 ③ゾーン大会の研究冊子の校正作業などを行っています。

会報発行では、内容や紙面の割り振り、原稿依頼、校正、理事会配布、郵送などの作業があります。皆さんにも原稿執筆や配布などでご協力をいただきありがとうございます。もし、「会報にこんなことを載せてほしい。」とのご要望がありましたら、ぜひ広報部まで声をお寄せください。会報が、1300校を結ぶ情報交換の場となるよう、今後も努めていきます。

部長：井戸 正利（板橋区・北前野小） 部員：野馬 文（品川区・日野学園小）
副部長：猪瀬 守恵（葛飾区・北野小） 高野 恵（杉並区・高井戸小）
安達夕希子（荒川区・尾久西小） 近江ちひろ（杉並区・三谷小）
植田 美香（目黒区・駒場小） 小笠原 薫（練馬区・南町小）
森口真規子（練馬区・練馬第二小）

都小音研沿革史

昭和	
33	<p>10 東京都小学校教育研究会結成大会 (10/16 中央・京橋昭和小)</p> <p>会則制定 初代会長 瀬戸 尊 事務所を大田・洗足池小に置く</p>
34	<p>1 会報「都小音研」第1巻第1号創刊 (1/20 〈題字〉瀬戸 尊)</p> <p>2 本会事業 音楽ワーク・ノート刊行、見本配布</p> <p>5 昭和34年度総会・研究大会 (5/28 新宿・四谷第三小) 主題「低学年における音楽指導のあり方」 事務所を台東・下谷小に置く</p>
35	<p>4 昭和35年度総会・研究大会 (4/28 八王子・第一小) 主題「音楽を身につけさせるにはどのようにしたらよいか」 会則一部改訂(常任理事制) 二代会長 根守四郎</p> <p>8 [全小音研加盟]</p>
36	<p>3 都小音研研究指定校発表会 (3/9 杉並・三谷小)</p> <p>昭和36年度総会・研究大会 (4/28 新宿・津久戸小) 主題「新学習指導要領による四領域の音楽学習」</p> <p>11 研究部領域別五部門設置 東京都小中学校教育研究発表全国大会 (11/30～12/2 千代田・錦華小 他) 主題「小中学校の関連性における普通授業の器楽指導」</p>
37	<p>4 昭和37年度総会・研究大会 (4/27 港・桜鯛小) 主題「現場の実態に即した基礎学習」 会則一部改訂(副会長3名制) 三代会長 石川誠一</p>
38	<p>1 音楽ワーク・ノート内容改訂</p> <p>4 昭和38年度総会・研究大会 (4/26 新宿・江戸川小) 主題「現場の実態に即した基礎指導のあり方」</p>
39	<p>4 昭和39年度総会・研究大会 (4/28 新宿・江戸川小) 主題「現場の実態に即した基礎指導」</p> <p>5 合唱研究サークル発足(児童合唱連盟)</p> <p>9 第1回合唱祭(9/26 東京都児童館)</p> <p>10 合奏団サークル発足(器楽合奏団)</p>
40	<p>3 児童作曲コンクール開始</p> <p>4 昭和40年度総会・研究大会 (4/27 中央・常盤小) 主題「現場の実態に即した基礎指導」 四代会長 勝田栄三郎 第1回児童作曲コンクール作品発表会 (4/27 中央・常盤小)</p> <p>9 都小音研会員名簿作成配布</p> <p>10 第2回合唱祭(10/23 東京都児童会館)</p>
41	<p>3 第2回児童作曲コンクール作品発表会 (3/15 中央・常盤小)</p> <p>5 昭和41年度総会・研究大会 (5/16 中央・常盤小) 主題「現場の実態に即した基礎指導」 事務所を渋谷・渋谷小に置く</p> <p>7 会則一部改訂(7/14)</p>
42	<p>2 第3回合唱祭(2/19 文京公会堂)</p> <p>3 第3回児童作曲コンクール作品発表会 (3/14 都研)</p> <p>4 昭和42年度総会・研究会 (4/28 中央・常盤小) 主題「創造性を育てる音楽教育」 研究大会を分離</p>
43	<p>1 会報「都小音研」100号記念号</p> <p>2 研究大会地区大会開始 昭和42年度研究大会 文京大会 (2/6 文京・柳町小) 副主題「音楽性を育てる基礎指導」 第4回合唱祭(2/11 文京公会堂) 第4回児童作曲コンクール作品発表会 (2/29 都研)</p> <p>4 昭和43年度総会・研究会 (4/28 中央・常盤小) 主題「創造性を育てる音楽教育」</p> <p>12 昭和43年度研究大会 墨四大会 (12/3 墨田・横川小)</p>

- 主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
昭和53年度全日音研小学校部会全国大会
開催決定
- 7 身体表現・鑑賞指導各サークル発足
- 11 昭和52年度研究大会
(11/22 千代田・綿華小)
副主題「豊かな感受性を育てる指導法の改善をめざして」
- 53 ■ 2 第14回合唱祭 (2/11 サンブラザ)
第2回管楽器演奏会 (2/19 久保講堂)
- 3 第14回児童作曲コンクール作品発表会
(3/9 都研)
- 4 昭和53年度総会・研究会
(4/28 江東・東川小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
- 7 創立20周年記念式典 (7/13)
指揮サークル発足
- 9 会報「都小音研」200号記念号
- 11 全日音研小学校部会全国大会
(11/1～2 豊島・目白小、都児童会館)
副主題「豊かな感受性と表現力を育てるための指導法の改善をめざして」
- 54 ■ 2 第15回合唱祭 (2/11 サンブラザ)
編曲研究発表会 (2/13 板橋・志村小)
第3回管楽器交歓演奏会
(2/18 虎ノ門ホール)
- 3 第15回児童作曲コンクール作品発表会
(3/1 千代田・千接小)
- 4 昭和54年度総会・研究会
(4/23 国分寺・第七小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
- 55 ■ 2 第16回合唱祭 (2/11 サンブラザ)
編曲研究発表会 (2/14 杉並・馬橋小)
第4回管楽器演奏会 (2/17 久保講堂)
昭和54年度研究大会—研究サークルによる研究発表 (2/19 中央・久松小)
副主題「意欲的に取り組ませる学習指導の工夫」
- 3 第16回児童作曲コンクール作品発表会
(3/7 千代田・千桜小)
- 4 事務所を千代田・千桜小に置く
昭和55年度総会・研究会
(4/25 板橋・富士見台小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
九代会長 渡辺久遠
- 9 リコーダー研究サークル発足
- 12 研究ゾーン (地区の連合) 提示
- 56 ■ 1 第17回児童作曲コンクール作品発表会
(1/27 千代田・永田町小)
- 2 第17回合唱祭 (2/15 サンブラザ)
第5回管楽器演奏会 (2/22 久保講堂)
昭和55年度研究大会—研究サークルによる研究発表 (2/24 杉並・桃井第二小)
副主題「意欲的に取り組ませる学習指導の工夫」
- 4 昭和56年度総会・研究会
(4/18 昭島・東小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
- 57 ■ 1 第18回児童作曲コンクール作品発表会
(1/26 千代田・永田町小)
- 2 第18回合唱祭
(2/7 日本青年館ホール、11 立川市民会館)
編曲研究発表会 (2/8 千代田・神田小)
第6回管楽器演奏会 (2/14 久保講堂)
本年度よりゾーン研究大会
昭和56年度研究大会 山の手Aゾーン大会
(文京・豊島・板橋・北)
(2/18 文京・柳町小)
副主題「意欲的に取り組ませる学習指導の工夫」
- 4 昭和57年度総会・研究会
(4/27 港・南山小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
事務所を千代田・九段小に置く
- 58 ■ 1 第19回児童作曲コンクール作品発表会
(1/24 中央・東華小)
- 2 第19回合唱祭
(2/11 立川市民会館、13 ゆうぽーと)
第7回管楽器演奏会 (2/20 久保講堂)
昭和57年度研究大会 東武・総武ゾーン大会
(江東・墨田・足立・荒川・江戸川・葛飾)
(2/22 足立・梅島第一小)
副主題「意欲的に取り組ませる学習指導の工夫」
- 4 昭和58年度総会・研究会
(4/22 練馬・大泉第二小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
- 6 授業研究サークル発足
- 10 昭和60年度全日音研総合大会開催東京決定
- 11 音楽科実態調査 (予算、備品)
- 59 ■ 1 第20回児童作曲コンクール作品発表会
(1/26 中央・東華小)
- 2 第20回合唱祭
(2/5 立川市民会館、11 ゆうぽうと)
編曲研究発表会 (2/7 杉並・杉並六小)

- 第8回管楽器演奏会 (2/19 サンプラザ)
昭和58年度研究大会 青梅ゾーン大会
(2/21 青梅第一小・青梅市民会館)
副主題「意欲的に取り組ませる学習指導の工夫」
- 4 昭和59年度総会・研究会
(4/27 狛江・八小)
主題「音楽の好きな子どもを育てよう」
十代会長 高橋英男
- 5 東日本小学校管楽器教育連絡協議会に加盟
- 7 編曲法公開講座 (7/9 千代田・神田小)
- 8 第5回多摩地区管楽器演奏会
(8/1 立川市民会館)
- 10 昭和60年度全国大会小学校部会
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」に決定
- 60 ■ 1 第21回児童作曲コンクール作品発表会
(1/29 中央・東華小)
- 2 編曲研究発表会 (2/7 葛飾・川端小)
第21回合唱祭 (2/10 江東公会堂・新宿文化センター、11 立川市民会館)
第9回管楽器演奏会
(2/7 練馬文化センター、24 江東公会堂)
昭和59年度研究大会 西武Aゾーン大会
(練馬、清瀬、保谷、東久留米)
(2/15 武蔵野音大、練馬・小竹小)
副主題「意欲的に取り組ませる学習指導の工夫」
- 4 昭和60年度総会・研究会
(4/26 新宿・津久戸小)
主題「豊かな生道を展望した音楽教育をめざして」
- 11 昭和60年度全日音研東京大会
(11/21～22 練馬文化センター、練馬・光和小、豊島・仰高小、東京文化会館)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
- 61 ■ 1 第22回児童作曲コンクール作品発表会
(1/30 中央・泰明小)
- 2 第22回合唱祭 (2/2 新宿文化センター、9 江東公会堂・立川市民会館)
編曲研究発表会 (2/7 杉並・四宮小)
教材・教具開発研究発表会
(2/14 バリオホール)
- 第10回管楽器演奏会
(2/16 練馬文化センター、23 江東公会堂)
- 4 昭和61年度総会・研究会
(4/25 荒川・第二日暮里小)

- 主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
十一代会長 柳田秀武
- 62 ■ 1 第23回児童作曲コンクール作品発表会
(1/29 バリオホール)
- 2 第23回合唱祭
(2/8・11 新宿文化センター・江東公会堂)
第11回管楽器演奏会 (2/15 虎ノ門ホール、22 虎ノ門ホール・江東公会堂)
昭和61年度研究大会 山の手Cゾーン大会
(大田、品川)
(2/26 大田区民センター、大田・道塚小)
副主題「個人差に対応し個性を伸ばす音楽学習をめざして」
- 3 編曲研究発表会 (3/3 千代田・神田小)
- 4 昭和62年度総会・研究会
(4/28 中野・沼袋小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
- 12 都小音研創立30周年記念大会 (12/3 科学技術館) 研究サークルによる研究発表
創立30周年記念式典 (12/3)
都小者研「名鑑録」刊行
会報「都小音研」創立30周年記念号
- 63 ■ 2 第24回児童作曲コンクール作品発表会
(2/4 バリオホール)
- 第24回合唱祭 (2/11 新宿文化センター・練馬文化センター、14 立川市民会館)
第12回管楽器演奏会
(2/14 虎ノ門ホール、21 江東公会堂)
- 4 昭和63年度総会・研究会
(4/26 墨田・綿糸小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
十二代会長 渡辺陸雄
- 11 学ぶ理事会「研究主題と研究の取り組み」
山本文茂氏 (11/17 千代田・九段小)

- 1 ■ 1 第25回児童作曲コンクール作品発表会
(1/24 新宿・赤城社会教育会館)
- 2 第25回合唱祭 (2/5 立川市民会館、11 練馬文化センター・新宿文化センター)
第13回管楽器演奏会 (2/19 練馬文化センター・江東公会堂、26 虎ノ門ホール)
昭和63年度研究大会 多摩南ゾーン大会
(2/17 調布グリーンホール、第一小)
副主題「子どもが生き生きと取り組む音楽活動をめざして」
- 4 平成元年度総会・研究会
(4/25 渋谷・大和田小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
会則一部改訂(役員選出他)
- 7 学ぶ理事会「音楽教育の原理と実際」
西澤昭男氏 (7/10 千代田・九段小)
- 10 学ぶ理事会「新指導要領の具体的実践」
金本正武氏 (10/24 新宿・津久戸小)
- 2 ■ 1 第26回児童作曲コンクール作品発表会
(1/26 豊島区民センター)
- 2 第26回合唱祭 (2/4 新宿文化センター、11 立川市民会館・新宿分化センター)
第14回管楽器演奏会 (2/18 虎の門ホール、25 練馬文化センター、新宿文化センター)
平成元年度研究大会 中央 A ゾーン大会
(2/15 新宿文化センター)
副主題「聴くこと・表すことを通して、豊かな感性を育てる道を探る」
- 3 音楽授業研究会の会創立10周年研究発表会
(3/8 豊島・仰高小)
- 4 平成2年度総会・研究会
(4/26 立川・立川第二小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
十三代会長 菅野英二
サークル→各種研究会 名称変更
- 7 調査部「オーディオ機器と電子機器について」実態調査報告
学ぶ理事会「鑑賞指導について」諸石幸生氏 (7/16 箱崎エアターミナルビル)
- 10 学ぶ理事会「小・中・高等学校の関連を見通した音楽教育」矢島健治氏
(10/29 千代田・九段小)
- 3 ■ 1 調査部「鑑賞教室」実態調査報告
第27回児童作曲コンクール作品発表会
(1/25 新宿・角筈区民センター)
- 2 第27回合唱祭 (2/10 メル・バルク、武蔵野市民文化会館、11 練馬文化センター)
第15回管楽器演奏会 (2/17 江東公会堂、24 練馬文化センター・虎ノ門ホール)
平成2年度研究大会 山の手Bゾーン大会
(2/27 台東・田原小、浅草公会堂)
副主題「ひとりひとりの感じる心を大切に
した指導を通して」
- 4 平成3年度総会・研究会
(4/25 北・滝野川第七小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
- 7 学ぶ理事会「鍵盤楽器の変遷とホルンのお話」小沢千尋氏 (7/15 千代田・九段小)
- 10 学ぶ理事会「創造的な音楽活動に視点をあてた指導の改善—音楽に対する感性を育てるために—」山本文茂氏
(10/2 千代田・九段小)
- 11 調査部「創造的な音楽活動」に関する調査報告
- 12 平成3年度研究大会 山の手Dゾーン大会
(12/12 目黒・上目黒小、守屋教育会館、目黒公会堂)
副主題「創造的な音楽活動を通して音楽性の基礎を身に付け、自ら学ぶ喜びを味わう子どもを育てよう」
- 4 ■ 1 第28回児童作曲コンクール作品発表会
(1/28 新宿・角筈区民ホール)
- 2 第28回合唱祭 (2/9 日比谷公会堂、11 武蔵野市民会館、北とびあさくらホール)
第16回管楽器演奏会
(2/23 練馬文化センター・虎ノ門ホール)
- 4 平成4年度総会・研究会
(4/24 小平・学園東小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
十四代会長 中村光雄
- 7 学ぶ理事会「著作権とは」松岡新平氏
(7/18 千代田・九段小)
- 10 学ぶ理事会「21世紀にむけての学校音楽科カリキュラムを考える」西園芳信氏
(10/23 千代田・九段小)
- 11 調査部 都小音研年齢別構成報告
- 5 ■ 1 第29回児童作曲コンクール作品発表会
(1/19 新宿・角筈区民ホール)
- 2 第29回合唱祭
(2/11 新宿文化センター、14 立川市民会館)

- 第17回管楽器演奏会
(2/21 虎ノ門ホール、28 練馬文化センター)
平成4年度研究大会 中央Bゾーン大会
(2/19 国分寺・第四小、いずみホール)
副主題「いいな音楽—育てよう音楽を楽し
む子どもたち」
- 4 平成5年度総会・研究会
(4/27 千代田・九段小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高め
る子どもを育てよう」
鑑賞指導研究会発足
調査部 創造的音楽活動調査報告
- 7 学ぶ理事会「作曲指導法の研究」川崎祥悦
氏 (7/1 千代田・九段小)
- 11 学ぶ理事会「音楽鑑賞指導今、何をすれば
よいのか」菅原克己氏
(11/25 千代田・九段小)
- 6 ■ 1 第30回児童作曲コンクール作品発表会
(1/21 新宿・角管区民ホール)
第30回記念「教師の部」特設
- 2 第30回合唱祭
(2/11・13 新宿文化センター)
第18回管楽器演奏会
(2/20 虎ノ門ホール、練馬文化センター)
平成5年度研究大会 西武Bゾーン大会
(2/18 ルネこだいら)
副主題「私の音楽！みんなの音楽！」
- 4 平成6年度総会・研究会
(4/28 台東・金竜小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高め
る子どもを育てよう」
第十五代会長 伊藤俊彦
- 7 学ぶ理事会「教育評価について」大和淳二
氏 (7/12 千代田・九段小)
- 9 会報「都小音研」300号記念号
会報「都小音研」の歩み
- 11 調査部 各地区の研究主題の集計
- 12 学ぶ理事会「打楽器の指導法」酒井聡氏
(11/22 千代田・九段小)
- 7 ■ 1 研究ゾーン新エリア決定
第31回児童作曲コンクール作品発表会
(1/24 渋谷・東京都児童会館)
- 2 第31回合唱祭 (2/5 新宿文化センター、
11 アミュー立川市民会館)
第19回管楽器演奏会
(2/19・26 練馬文化センター)
平成6年度研究大会 各種研究会研究発表
大会 (2/17 大田区民センター、道塚小)
- 主題「心にひびく音楽を求め、自らを高め
る子どもを育てよう」
- 4 平成7年度総会・研究会
(4/25 中央・阪本小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高め
る子どもを育てよう」
- 7 学ぶ理事会 長編アニメーション音楽映画
「星空のバイオリン」の鑑賞
(7/13 千代田・九段小)
- 11 学ぶ理事会「音楽科教育の今日的な課題と
教師への期待」金本正武氏
(11/24 千代田・九段小)
- 8 ■ 1 第32回児童作曲コンクール作品発表会
(1/23 千代田・カスケードホール)
調査部「小学校音楽科指導の実情アンケ
ート調査について
- 2 第32回合唱祭
(2/11・18 新宿文化センター)
第20回管楽器演奏会
(2/18 練馬文化センター・ティアラこうとう、
24 練馬文化センター)
平成7年度研究大会 中央Aゾーン大会
(2/29 なかのZEROホール)
副主題「きいてよ音楽、いいな音楽」
- 4 平成8年度総会・研究会
(4/23 羽村・小作台小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高め
る子どもを育てよう」
- 7 学ぶ理事会「Dを中心とした新しい音楽ソ
フトの研究」宮崎進氏
(7/12 千代田・九段小)
- 8 全日本合唱教育研究大会 (共催)
(8/24・25 府中の森芸術劇場)
- 12 平成8年度研究大会 八丈島大会
(12/6 中之郷小、大賀郷小、三根小)
副主題「ともに音楽のよろこびを一思いき
り表現できる子どもをめざして」
- 9 ■ 1 第33回児童作曲コンクール作品発表会
(1/24 千代田・カスケードホール)
「学校賞」を新設
- 2 第33回合唱祭 (2/9・11 新宿文化センター)
第21回管楽器演奏会 (2/16 ティアラこう
とう、22 練馬文化センター)
- 4 平成9年度総会・研究会
(4/24 墨田・錦糸小)
主題「心にひびく音楽を求め、自らを高め
る子どもを育てよう」
- 7 学ぶ理事会「本当にそう思って歌っている

- か?—表現というものを考える」友清和親氏 (7/11 千代田・九段小)
- 12 都小音研創立40周年記念式典 (12/6)
- 10 ■ 1 第34回児童作曲コンクール作品発表会
(1/22 千代田・カスケードホール)
- 2 第34回合唱祭 (2/8・10 新宿文化センター)
第22回管楽器演奏会 (2/14・15 練馬文化センター、15 ティアラこうとう)
平成9年度研究大会 青梅ゾーン大会
(2/20 昭島市民会館)
大会主題「一人一人が心を開いて音楽とかわり音楽を楽しむ子どもを育てよう」
※青梅ゾーン (昭島・青梅・福生・羽村・あきる野・西多摩)
- 4 [都小音研] 事務所移転 (4/1 千代田・お茶の水小〈担当〉渡辺信夫副会長)
理事会 (4/20 邦楽研究会発足承認)
平成10年度総会・研究会
(4/23 台東・金竜小)
研究主題「心にびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
研究会 (公開授業 邦楽器研修)
- 7 学ぶ理事会 (7/13 千代田・お茶の水小)
「音楽を聴いて楽しみ 見て楽しむ」
諸石幸生氏 (音楽評論家)
- 11 学ぶ理事会 (11/24 千代田・お茶の水) 「低音の魅力」田中洪至 (コントラバス奏者)
- 11 ■ 1 第35回児童作曲コンクール作品発表会
(1/22 千代田・カスケードホール)
平成10年度研究大会 総武ゾーン大会
(2/9 江戸川総合区民ホール)
大会主題「音楽を通して、共に高め合う子どもを育てよう〜輝く目 音も心も響き合う!」
※総武ゾーン (墨田・江東・江戸川)
- 2 第35回合唱祭
(2/11・14 新宿文化センター)
第23回管楽器演奏会 (2/11 練馬文化センター、2/27・28 ティアラこうとう)
- 4 平成11年度総会・研究会
(4/23 台東・浅草小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
研究会 (公開授業 講演)
- 7 学ぶ理事会 (7/12 千代田・お茶の水小)
「合唱指導〜選曲から指導まで」
大熊崇子氏 (作曲家) (台東・金龍小)
- 全国大会宿泊研修会
(8/25・26 山中湖・清溪荘)
- 11 [全日音研] 総合大会 (11/11・12)
東京大会小学校部会
大会主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
・第1日 (小学校部会)
午前 台東・浅草小学校
台東・金竜小学校
午後 東京文化会館
・第2日 (全体会) 府中の森芸術劇場
- 12 ■ 1 第36回児童作曲コンクール作品発表会
(1/22 千代田・カスケードホール)
- 2 第36回合唱祭
(2/11・13 府中の森芸術劇場)
第24回管楽器演奏会 (2/26・27 なかのZERO、26 練馬文化センター)
- 4 平成12年度総会・研究会
(4/23 杉並・高井戸第四小)
研究主題「心にびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
研究会 (公開授業 ワークショップ)
第十六代会長 渡辺信夫
(千代田・お茶の水小)
- 7 学ぶ理事会 (7/14 千代田・お茶の水小)
「リコーダー教育の現状とこれから」吉澤実氏 (リコーダー奏者)
- 11 学ぶ理事会 (11/21 千代田・麴町小) 「ハーブの魅力」菊池恵子氏 (ハーブ奏者)
- 13 ■ 1 第37回児童作曲コンクール作品発表会
(1/26 千代田・カスケードホール)
- 2 第37回合唱祭 (2/11・2 新宿文化センター)
平成12年度研究大会 (2/15 なかのZERO)
大会主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
※総合的な大会
第25回管楽器演奏会 (2/18 シビックホール、24・25 なかのZERO)
[都小音研] 事務所移転
(4/1 台東・金竜小〈担当〉渡辺信夫会長)
平成13年度総会・研究会
(4/26 八王子・第一小)
研究主題「心にびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
- 7 理事研修会 (7/16 台東・金竜小) 「新教育課程における音楽科学習指導—今、音楽科教師に求められるもの、期待されること—」今直樹氏

- 11 理事研修会 (11/20 台東・金竜小)
- 14 ■ 1 第38回児童作曲コンクール作品発表会
(1/25 千代田・カスケードホール)
- 2 第38回合唱祭 (2/9・10 新宿文化センター)
第26回管楽器演奏会 (2/9 練馬文化センター、10・11 ティアラこうとう)
- 平成13年度研究大会 多摩南ゾーン大会
(2/15 八王子・第一小、いちょうホール)
大会主題「表そう 伝えよう 自分の思い みんなの思い」
- ※多摩南ゾーン (八王子・調布・狛江・府中・多摩・稲毛)
- 4 平成14年度総会・研究会
(4/23 江戸川・平井南小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
研究会 (公開授業 講演)
- 7 学ぶ理事会 (7/15 台東・金竜小)「小学校におけるこれからの邦楽教育のすすめ方」
藤原睦子氏 (東京芸術大学助教授)
- 11 理事研修会 (11/18 台東・金竜小)「子どもの豊かな感性を育てる歌唱」若松正司 (作曲家)
- 15 ■ 1 第39回児童作曲コンクール作品発表会
(1/25 千代田・カスケードホール)
- 2 第39回合唱祭 (2/8・9 新宿文化センター)
第27回管楽器演奏会 (2/15・16 なかのZERO、23 文京シビック)
- 平成14年度創立45周年記念研究大会
(2/21 台東・生涯学習センター)
大会主題「“にほんのこころ”を音楽にのせて」
- 4 平成14年度総会・研究会
(4/23 江戸川・平井南小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
研究会 (公開授業 講演)
- 理事研修会 (7/14 台東・金竜小)「いのちにふれる音楽教育」小宮路敏 (元玉川大学講師)
- 理事研修会 (11/18 台東・金竜小)「今、つくって表現する活動をもう一度考える」坪能由紀子氏 (日本女子大学教授)
- 16 ■ 1 第40回児童作曲コンクール作品発表会
(1/25 千代田・カスケードホール)
- 2 平成15年度研究大会
(2/2・3 なかのZERO)
大会主題「心にひびく音楽を求め、自らを
- 高める子どもを育てよう」
- ※各種研究会
第40回合唱祭 (2/7・8 新宿文化センター)
第28回管楽器演奏会 (2/14 練馬文化、22 ティアラこうとう、28・29 なかのZERO)
- 4 都小音研 事務所移転
(4/1 中央・久松小 (担当) 小川一平副会長)
平成16年度総会・研究会
(4/22 練馬・光が丘第六小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
研究会 (公開授業・歌唱研究会)
第十七代会長 嶋 英治
(練馬・光が丘第六小学校長)
- 6 学ぶ理事会 (6/15 中央・久松小)「教材といかにつき合うか—教材研究あれこれ」長谷部匡俊氏 (作曲家)
- 12 平成16年度研究大会 山の手Cゾーン大会
(12/3 目黒・パーシモン)
大会主題「聴いて 感じて あらわすよるこび」
- ※山の手Cゾーン (品川・大田・目黒)
- 17 ■ 1 第41回児童作曲コンクール作品発表会
(1/21 千代田・カスケードホール)
- 2 第29回管楽器演奏会 (2/11・12 ティアラこうとう、19・20 なかのZERO)
第41回合唱祭
(2/12・13 新宿文化センター)
- 4 平成17年度総会・研究会
(4/21 東村山・東萩山小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを高める子どもを育てよう」
模範授業 (リコーダー実技研修会)
- 7 学ぶ理事会 (7/15 中央・久松小)「民族楽器でボディーパーカッションで楽しく即興表現」飯田和子氏 (作曲家・編曲家)
学ぶ理事会 (10/20 中央・久松小)「音楽的に豊かな感性の育成」
鑑賞研究会
- 11 学ぶ理事会 (12/20 中央・久松小)「邦楽の指導法」
邦楽研究会
- 18 ■ 1 平成17年度研究大会 西武Bゾーン大会
(1/27 東大和・第二小、ルネこだいら)
大会主題「広げよう 音楽楽しもう音楽」
※西武B (小平・東村山・東大和・武蔵村山)

- 2 第42回合唱祭
(2/11・12 新宿文化センター)
第30回管楽器演奏会 (2/18 なかのZERO、
19 ティアラこうとう)
第42回児童作曲コンクール作品発表会
(2/20 千代田・カスケードホール)
- 3 第30回管楽器演奏会
(3/4・5 なかのZERO)
管楽器研究会創立30周年記念式典
(3/5 中野サンプラザ)
- 4 平成18年度総会・研究会
(4/25 渋谷・鳩森小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを
高める子どもを育てよう」
研究会(公開授業・実技研修会)
- 7 学ぶ理事会 (7/14 中央・久松小)「いっし
ょに歌いましょう! 作曲家からのメッセ
ージ」若松 敏 (作曲家)
- 10 学ぶ理事会 (10/19 平成20年度[全日音研
小・中]東京大会承認
研究主題「今こそ音楽! 確かな音楽科教育
を目指して」
- 12 平成18年度研究大会 山の手Dゾーン大会
(国立オリンピック記念青少年総合センター)
大会テーマ「かかわりの中で一学ぶ楽しさ
深まる音楽」
※山の手Dゾーン (世田谷・渋谷・町田)
- 19 ■ 1 第43回児童作曲コンクール作品発表会
(2/20 千代田・カスケードホール)
2 第31回管楽器演奏会
(2/10 練馬文化センター)
第43回合唱祭
(2/11・12 府中の森芸術劇場)
第31回管楽器演奏会
(2/24・3/3・4 なかのZERO)
- 4 事務所移転
(4/1 豊島・巣鴨小 〈担当〉大川彰理事長)
平成19年度総会・研究会
(4/26 練馬・南町小)
研究主題「心にひびく音楽を求め、自らを
高める子どもを育てよう」
研究会(公開授業・実技研修会)
- 7 学ぶ理事会 (7/13 豊島・巣鴨小)「リコー
ダーアンサンブルの魅力」吉沢実氏 (リコー
ダー奏者)
- 9 理事研修会 (9/18 豊島・巣鴨小)「著作権
についての研修会」曾根洋一氏 (楽譜コピ
ー問題協議会)
- 10 理事研修会 (10/18 豊島・巣鴨小)「打楽器
研修会」管楽器研究会
- 12 平成19年度研究大会 西武Aゾーン大会
(12/7 練馬文化センター)
大会主題「いいな〜 音楽! 感じる心 ひ
ろがる世界」
※西武Aゾーン
(練馬・清瀬・東久留米・西東京)
- 20 ■ 1 第44回児童作曲コンクール作品発表会
(1/24 千代田・カスケードホール)
2 第44回合唱祭 (2/9・10 府中の森芸術劇場)
第32回管楽器演奏会 (2/16 なかのZERO、
23 練馬文化センター)
3 第32回管楽器演奏会
(3/1・2 なかのZERO)
4 平成20年度総会・研究会
(4/24 大田・赤松小)
研究主題「心にひびく音楽を求め 自らを
高める子どもを育てよう」
研究会(公開授業・研究会)
第十八代会長 太田真也 (大田・大馬込第
二小学校長) 選出
- 7 学ぶ理事会 (7/11 豊島・巣鴨小)「子ども
の表現を引き出す指揮法」田久保裕一氏
(指揮者)
- 11 [全日音研小・中本部大会]
(11/7 なかのZERO)
研究主題「今こそ音楽! 確かな音楽科教育
をめざして」
[都小音研]創立50周年記念式典
(11/22 東京会館)
- 21 ■ 2 第45回合唱祭 (新宿文化センター)
第33回管楽器演奏会 (2/14・15 武蔵野市
民文化会館、21 練馬文化センター、3/1
なかのZERO)
- 11 [全日本音楽教育研究会全国大会東京大会]
大会主題「音楽の喜びを分かち合い求め続
ける心を育てよう」
小学校部会主題「つながる 深まる 音楽
する喜び」
(小学校部会 11/5 練馬・光が丘第六小、練
馬文化センター、大田・六郷小、大田ア
プリコ)
(全体会 11/6 練馬文化センター)
- 22 ■ 1 第46回児童作曲コンクール作品発表会
(1/21 千代田・カスケードホール)
2 第46回合唱祭 (2/7・11 府中の森芸術劇場)
第34回管楽器演奏会

- (2/13 練馬文化センター、14・20 武蔵野市民文化会館、27 練馬文化センター)
- 4 平成 22 年度総会・研究会
(4/22 文京・礪川小)
研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
研究会 (公開授業・研究会)
第十九代会長 森島 徹 (文京・青柳小学校長) 選出
- 7 学ぶ理事会 (7/16 文京・青柳小) 吉原佐和子 (箏演奏家)
- 23 ■ 1 平成 22 年度研究大会 山の手 A ゾーン大会
(1/28 文京・本郷小、文京シビックホール)
大会主題「わたしの思い みんなの思いを音楽で」
※山の手 A ゾーン (文京・豊島・北・板橋)
第 47 回児童作曲コンクール作品発表会
(1/19 千代田・カスケードホール)
- 2 第 47 回合唱祭
(2/11・12 府中の森芸術劇場)
第 35 回管楽器演奏会 (2/12 練馬文化センター、26・27 武蔵野市民文化会館、3/6 なかの ZERO)
- 4 平成 23 年度総会・研究会
(4/21 中央・日本橋小)
研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
研究会 (公開授業・実技研修会)
- 7 学ぶ理事会 (7/15 中央・日本橋小) 山崎朋子 (調布市立第七中学校)
- 24 ■ 1 平成 23 年度研究大会 山の手 B ゾーン大会
(1/27 台東・上野小、上野学園石橋メモリアルホール)
大会主題「ともにつくろう ひびき合う音楽を」
※山の手 B ゾーン
(千代田・中央・港・台東)
第 48 回児童作曲コンクール作品発表会
(1/19 千代田・カスケードホール)
- 2 第 48 回合唱祭
(2/19・25 府中の森芸術劇場)
第 36 回管楽器演奏会 (2/18・19 練馬文化センター、25・26 武蔵野市民文化会館)
- 4 平成 24 年度総会・研究会
(4/26 立川・第二小)
研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
研究会 (公開授業・ワークショップ)

- 7 学ぶ理事会 (7/13 文京・青柳小) 長谷部匡俊 (作曲家)
- 12 平成 24 年度研究大会 中央 B ゾーン大会
(12/7 国分寺・第十小、アミューたちかわ)
大会主題「伝えよう 広げよう 私たちの音楽」
※中央 B ゾーン (三鷹・小金井・国分寺・国立・立川・日野)
- 25 ■ 1 第 49 回児童作曲コンクール作品発表会
(1/24 千代田・カスケードホール)
- 2 第 49 回合唱祭
(2/10・11 府中の森芸術劇場)
第 37 回管楽器演奏会 (2/23・24 武蔵野市民文化会館、3/2・3 練馬文化センター)
- 4 平成 25 年度総会・研究会
(4/25 足立・興本小)
研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
研究会 (公開授業・研究会)
- 7 学ぶ理事会 (7/12 文京・青柳小) 「パーカッション中心のアフリカ音楽」
(ミニコンサートとワークショップ) ムクナ・チャカトゥンバ (パーカッション奏者)
- 26 ■ 1 平成 25 年度研究大会 東武ゾーン大会
(1/21 かつしかシンフォニーヒルズ)
大会主題「聴いて感じて表そう わたしの思い 伝え合おう みんなの思い」
※東武ゾーン (荒川・足立・葛飾)
- 1 第 50 回児童作曲コンクール作品発表会
(2/14 千代田・カスケードホール)
- 2 第 50 回合唱祭
(2/11・22 府中の森芸術劇場)
第 38 回管楽器演奏会 (2/15・16 武蔵野市民文化会館、22・23 練馬文化センター)
- 4 平成 26 年度総会・研究会
(4/24 府中・第一小)
研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
研究会 (公開授業・研究会)
第二代会長 豊田美代子 (荒川・第二瑞光小学校長) 選出
- 7 学ぶ理事会 (7/11 文京・青柳小) 「富澤流、共通教材指導法」富澤裕 (作・編曲家)
- 11 平成 26 年度全日本音楽教育研究会全国大会東京大会 (11/6 府中の森芸術劇場)
大会主題「つなげよう 深めよう 思いをこめて」

- 27 ■ 1 第51回児童作曲コンクール作品発表会
(2/10千代田・カスケードホール)
- 2 第51回合唱祭
(2/21・22府中の森芸術劇場)
- 第39回管楽器演奏会(2/14・15練馬文化センター、21・22武蔵野市民文化会館)
- 4 平成27年度総会・研究会
(4/23福生・福生第三小)
- 研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
- 研究会(公開授業・研究会)
- 7 学ぶ理事会(7/10中央・中央小)「リコーダーの秘密」吉沢実(リコーダー奏者)
- 28 ■ 1 平成27年度研究大会 青梅ゾーン大会
(1/22羽村市生涯学習センターゆとろぎ)
- 大会主題「もっと音楽 ずっと音楽」
- ※青梅ゾーン(昭島・羽村・あきるの・西多摩・福生・青梅・瑞穂)
- 2 第52回児童作曲コンクール作品発表会
(2/12千代田・カスケードホール)
- 第52回合唱祭
(2/11・14・21府中の森芸術劇場)
- 第40回管楽器演奏会(2/20・21武蔵野市民文化会館、27・28練馬文化センター)
- 4 平成28年度総会・研究会
(4/21新宿・花園小)
- 研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
- 研究会(公開授業・研究会)
- 第二十一代会長 早川修一(練馬・橋戸小学校長) 選出
- 7 学ぶ理事会(7/8中央・中央小)
- 「多角度から楽譜を読もう!~作曲家と指揮者がアプローチする究極の教材研究~」
- 若松欽(作曲家) 田久保裕一(指揮者)
- 29 ■ 1 平成28年度研究大会 中央Aゾーン大会
(1/20新宿区立新宿文化センター)
- 大会主題「子供が音楽で輝くとき」
- ※中央Aゾーン
(新宿・中野・杉並・武蔵野)
- 2 第53回児童作曲コンクール作品発表会
(2/10千代田・カスケードホール)
- 第53回合唱祭
(2/11・19府中の森芸術劇場)
- 第41回管楽器演奏会
(2/19・25練馬文化センター、26たましんRISURU、3/5練馬文化センター)
- 4 平成29年度総会・研究会

- (4/20江戸川・下鎌田西小)
- 研究主題「つながる 深まる 音楽する喜び」
- 研究会(公開授業・研究会)
- 7 学ぶ理事会(7/7中央・明石小)
- 「授業に生かすリトミック~聴く力・表現力を高める実践の一例~」緒形まゆみ(バンド指導者)
- 30 ■ 1 平成29年度研究大会 総武ゾーン大会
(1/26タワーホール船堀)
- 大会主題「つなげる 見つける 私たちの音楽」
- ※総武ゾーン(墨田・江東・江戸川)
- 2 第54回児童作曲コンクール作品発表会
(2/16千代田・カスケードホール)
- 第54回合唱祭
(2/11・12・18府中の森芸術劇場)
- 第42回管楽器演奏会(2/17・18武蔵野市民文化会館、24・25なかのZERO)



会報「都小音研」創刊号(第1巻第1号)
瀬戸 尊(初代会長)が題字を執筆。現在も受け継いでいます。

研究主題・大会主題 この10年

20年度

研究主題

心にひびく音楽を求め 自らを高める子どもを育てよう
… 全日音研小・中学校部会全国大会 本部大会 …

大会主題

今こそ音楽！確かな音楽科教育をめざして

小学校部会主題

心にひびく音楽を求め 自らを高める子どもを育てよう

21年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 全日音研全国大会（総合大会） ……………

大会主題

音楽の喜びを分かち合い求め続ける心を育てよう

小学校部会主題

つながる 深まる 音楽する喜び

22年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 山の手Aゾーン大会 ……………

大会主題

わたしの思い みんなの思いを 音楽で

23年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 山の手Bゾーン大会 ……………

大会主題

ともにつくろう ひびき合う音楽を

24年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 中央Bゾーン大会 ……………

大会主題

伝えよう 広げよう 私たちの音楽

25年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 東武ゾーン大会 ……………

大会主題

聴いて感じて表そう わたしの思い
伝え合おう みんなの思い

26年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
… 全日音研全国大会小中学校部会大会 東京大会 …

大会主題

つなげよう 深めよう 思いをこめて

27年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 青梅ゾーン大会 ……………

大会主題

もっと音楽 ずっと音楽

28年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 中央Aゾーン大会 ……………

大会主題

子供が音楽で輝くとき

29年度

研究主題

つながる 深まる 音楽する喜び
…………… 総武ゾーン大会 ……………

大会主題

つなげる 見つける 私たちの音楽

総武ゾーン大会（墨田・江東・江戸川）

大会主題

「つなげる 見つける 私たちの音楽」

～平成30年1月26日（金）タワーホール船堀～

大会運営部長 山本 澄子（江戸川・第二松江小）

総武の明るくエネルギーのある子供たちのよさを伸ばすために、身に付けたい力は何か…と長い時間をかけて話し合い、悩みに悩み、「つなげる 見つける 私たちの音楽」という大会主題を設定いたしました。

事前研では、大変お忙しい中、私たちの研究のために何度も足を運んでくださる助言者の先生方から、いつも目から鱗が落ちるような素晴らしいご指導ご助言をいただいております。この上ないエールと勇気をいただき、「また子供たちのために頑張ろう!!」と、意欲が湧いてきます。

そして、様々な準備に右往左往する私たちに、都小音研の先生方はいつも丁寧にご示唆くださっています。

私たちの努力の結晶、1月26日は是非、総武ゾーン大会にお越しください。明るくエネルギーにあふれた総武の子供の姿を、じっくりとご覧いただきたいと思っております。

授業Ⅰ

「曲の感じを生かして演奏しよう」
（器楽） 墨田・小梅小 3年

演奏Ⅰ

「曲の感じを生かして演奏しよう」
（器楽） 墨田・二葉小 4年

授業Ⅱ

「日本の音階に親しもう」
（音楽づくり） 江東・第五大島小 4年

演奏Ⅱ

「歌声にのせて私たちの思いを伝えよう」
（合唱） 江戸川・清新第一小 5年

授業Ⅲ

「スペイン風のリズムやせんりつを楽しもう」
（鑑賞） 江戸川・南小岩小 4年

演奏Ⅲ

「ソーラン節の世界を感じ取って表現しよう」
（音楽づくりと器楽） 江戸川・臨海小 4年

授業Ⅳ

「表現を工夫し、思いを歌声で伝えよう」
（歌唱） 江東・第四砂町小 5年

演奏Ⅳ

「思いをもって表そう それぞれの故郷」
（器楽） 江東・第七砂町小 6年

ワークショップ：講演と演奏

講師：東京都無形民俗文化財 江戸川区無形民俗文化財 東都葛西囃子 睦会

講演・講評

講師：国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 津田 正之 先生
演題：「学習指導要領 移行期において大切なこと」

学ぶ理事会

本年度の「学ぶ理事会」は7月7日(金)中央区明石小学校にて行われました。

今回は「授業に活かすリトミック ～聴く力・表現力を高める実践の一例～」をテーマに、元中学校教諭の緒形まゆみ先生を講師としてお迎えしました。

研修会では音楽の授業で心を育てるアプローチの一つとして、リトミックをどのように授業に取り入れるのかを実際に実技を交えて研修を行いました。

始めに授業にリトミック的な動きやソルフェージュ的なワークを取り入れる際に、指導書に書いてあること以外が手立ての場合には、学習指導要領にどのようにリンクし、達成させていくのかを明確にしていく必要があることをお話しされました。そして、小学校・中学校9年間のねらいを横断的にみていくことが大切であること、そして「子供をやる気にさせる4つのP」①Projects(具体的な計画・実際の体験)②Peers(仲間と一緒にやる)③Passion(情熱が沸く動機づけと体験)④Play(行うことに楽しさを伴って)などについて教えていただきました。

その後の実技研修は、簡単なストレッチやリズムにのっての肩たたきなど、楽しい雰囲気の中で始まりました。そこで講師の先生から「目を閉じて体育館に聞こえる音を聴いてみよう。」という問いかけが投げかけられました。このような普段気にしていない、聞こえてくる音に耳を傾けることが、授業に入る気持ちの切り替えにもなり、クラスや学校がまとまってくることにつながると教えていただきました。ピアノに合わせて2人組でテニスボールをキャッチする活動では、自然に体に拍感がついていくということ、それと同時に子供たちはピアノの音を必死に聴こうとする耳が育つこと、同じ長さの音の表現でも込める力のイメージが変わっていくことなどを教えていただきました。色々なピアノの演奏に合わせて身体表現し、その際に教師が「今の音は、重い?軽い?」「柔らかい?固い?」「濃い?薄い?」などと問いかけていくことが鑑賞の表現にも生きてくるとのアドバイスもいただきました。音に対する感覚を体の動きで表現することで、子供たちの音楽表現の幅を広げていく大切さを学ぶ場となりました。

最後に「このような活動を通して培った感覚を大切にしていけることが、これからの様々な学びの中でいつか花開く。」という言葉をいただきました。

たくさん動いて体も心もリフレッシュし、参加者からは自然と笑みがこぼれていました。楽しさと心の豊かさを皆さんで味わうことができた研修会になりました。



NHK全国学校音楽コンクール結果

おめでとうございます

〈全国コンクール〉	【金 賞】 日野市立七生緑小学校 【銀 賞】 港区立白金小学校
〈関東甲信越ブロックコンクール〉	【金 賞】 日野市立七生緑小学校、町田市立鶴川第二小学校、港区立白金小学校
〈東京都コンクール本選〉	【金 賞】 港区立白金小学校、町田市立鶴川第二小学校、日野市立七生緑小学校 【銀 賞】 目黒区立中目黒小学校、多摩市立南鶴牧小学校 【銅 賞】 世田谷区立中町小学校
〈東京都コンクール予選〉	
○予選A	【金 賞】 文京区立誠之小学校、世田谷区立赤堤小学校、世田谷区立中町小学校、日野市立七生緑小学校 【銀 賞】 日野市立旭が丘小学校、練馬区立開進第三小学校、目黒区立油面小学校 【銅 賞】 目黒区立大岡山小学校、三鷹中央学園三鷹市立第三小学校
○予選B	【金 賞】 目黒区立中目黒小学校、港区立白金小学校、文京区立本郷小学校、にしみたか学園三鷹市立井口小学校 【銀 賞】 杉並区立桃井第四小学校、世田谷区立祖師谷小学校、成城学園初等学校 【銅 賞】 国立市立国立第三小学校、府中市立本宿小学校
○予選C	【金 賞】 町田市立鶴川第二小学校、多摩市立南鶴牧小学校、足立区立辰沼小学校、八王子市立上柚木小学校 【銀 賞】 多摩市立東落合小学校、星美学園小学校、昭島市立光華小学校 【銅 賞】 世田谷区立北沢小学校、練馬区立光和小学校

平成29年度 全日本音楽教育研究会全国大会報告 ～ 沖縄大会 (総合大会) に参加して～

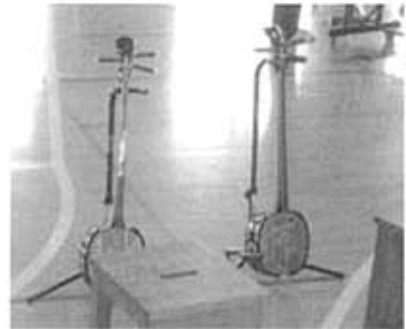
第58回九州音楽教育研究大会沖縄大会

大会主題「つなげよう未来へ 伝え合おう 音楽・ちむぐくる」

はいさい！はいたい！

2つの台風が立て続けに日本列島を駆け抜け、ようやく過ごしやすい涼しい秋が訪れた南国沖縄で、初めての全日音研全国大会が開催されました。

A会場・琉球大学附属小学校の音楽朝会は児童の進行のもと、沖縄のわらべうたを中心に、歌声やパフォーマンスが次々と楽しく表現されました。4年生の音楽づくりの授業では、学級のCMソングをつくる過程で琉球音階を価値付け、その響きの中で繰り返し木琴で試す姿がありました。6年生の器楽では、共通事項を手がかりにグループ毎に即興演奏を入れる工夫をし、相互評価しながら高め合う姿が見られました。3年生の歌唱では沖縄のわらべうた「じんじん(蛍)」で声の重ね方の工夫をしました。「歌って試してみよう」などの授業者の言葉掛けが適切で、グループ活動ではどの児童も意見を出し合う積極的な姿が見られました。協議会では「じんじん」の教材としての可能性の高さについて確認することができました。



B会場・浦添市立浦城小学校の音楽朝会は、音楽委員会と6年生児童の演奏に乗って下級生が入場。1000人を超える人数ですが、時にしっとりと美しく、時にノリノリで「沖縄の音楽を楽しもう」のテーマのとおり、一体となって楽しんでいました。5年生の鑑賞の授業では「民謡に親しもう」の題材で「谷茶前」を取り上げました。授業者は担任で体育主任でもあるそうですが、ねらいの焦点化がされた見事な進め方で、児童の「もっと聴きたい」「確かめたい」との思いがあふれる生き生きとした授業でした。

ワークショップからは全校種(小・中・高・大・特別支援)合同です。三線・組踊・合唱・授業づくりの4つが展開されました。合唱では児童生徒をやる気にさせる具体的な言葉掛けや富澤式腹式呼吸、「COSMOS」「大地讃頌」などの深い解釈、ハーモニーのつくり方などを実際に歌いながら学び、大ホールが参加者の歌声で包まれました。組踊では、誕生の歴史や組踊の3つの要素(台詞・音楽・踊り)について、実演やその場で出たお題による即興組踊を通して、楽しくわかりやすく解説していただきました。なかでも、踊りのゆえんについては様式を用いて、リアルな演技はしない、つまり想像力を逞しくして観る物だということが印象的でした。

指導講評では津田正之先生より、全ての授業において、主体的・協働的な学びの工夫、言語活動の工夫、学びの焦点化と段階的な指導の工夫がされていたとのお話がありました。

そのあと沖縄出身のテノール歌手新垣勉氏による記念講演は、柔らかく温かい歌声で始まり、耳が頼りの氏が大切にしている「声・言葉・響き・ハーモニー」についてユーモアを交えながら語っていただきました。参会者の心の中にも温かい沖縄の風が吹いたようです。

日程の最後を飾る記念演奏の幕開け、特別支援学校合同演奏の勇壮な演技は目を見張るものがありました。それに続く小学校の合唱、高校の郷土芸能、中学校のマーチング、全ての演奏に郷土への誇りが感じられ、児童生徒の最後の一人が退場するまで満場の拍手が止みませんでした。

様々な時代を乗り越えてきた沖縄の芸能文化の力に打たれるとともに、2年後に全国大会を、3年後にオリンピックを控えた東京っ子のアイデンティティとは何なのか？を考えさせられる大会でした。

うちなんちゅの皆様、いっぺーにふえーでーびたん(沖縄の方言で「いっばい、ありがとうございます」)、次回(平成31年度)の東京総合大会も、ゆたしくうにげーさびら(同「よろしくお願ひします」)！

上妻 智子(小平・花小金井小)・毛木 大介(江東・東雲小)

前田 しのぶ(豊島・池袋本町小)・森平 啓子(日野・旭が丘小)

◆ゾーン代表者会議 (9/7) 報告◆

- 会長挨拶、本部紹介
- 各ゾーン代表者自己紹介とゾーンの活動報告
- 平成29年度大会について
 - 総武ゾーン大会
 - 大会主題「つなげる 見つける 私たちの音楽」
 - 期日：平成30年1月26日(金)
 - 会場：タワーホール船堀
- 平成30年度大会について
 - 都小音研 研究大会
 - 期日：平成31年1月25日(金)
 - 会場：新宿区立新宿文化センター

編集後記

我々広報部の中心的な仕事は、広報「都小音研」の編集です。年間5回の広報発行を通じて、会員相互や諸先輩方、さらには関係諸機関とをつなぐ役を担っています。

本誌は今号で60巻。つまり、都小音研の歴史とともに歩んできました。そこで今号は、通常の10月号と12月号を合併し、24ページで構成しました。これは定期発行6回分に当たる規模で、校正作業は予想以上の困難を極めました。

そのようなとき励みになったのは、本誌第1巻第1号です。沿革誌19ページにあるその1ページには、今も受け継いでいる初代会長、瀬戸 尊先生の自筆による題字があります。歴代広報部員が受け継いできたバトンを、これからも渡していきたい、とあらためて思いました。

表紙の挿絵は都小音研OBで、児童作曲コンクールの審査員としてもお世話になっております、法島隆志先生が快く引き受けてくださいました。50周年の表紙をご覧になった先生が、「では60周年も切り絵で」と制作してくださいました。お忙しいなか本当にありがとうございました。作品は額装し、理事会などの場で展示いたします。ぜひご覧ください。

こうして広報部の仕事内容ひとつをとっても、多くの場面で「つながり」を感じます。今年度の総武ゾーン大会主題も「つなげる 見つける 私たちの音楽」。これからも、広報部は都小音研と様々な音楽、とりわけ音楽教育とを「つなぐ」役を、微力ながら務めていきます。寄稿いただいた先生方をはじめ、ご協力いただいた全ての皆様、ありがとうございました。

(M)

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈7月理事会〉 7/7 於：明石小学校

議長：宮田 俊明 (渋谷・中幡小)

○会長挨拶

○議 事

- 8・9月の行事予定について
- 各種研究会の研修会について
- 平成29年度 総武ゾーン大会 拡大実行委員会について
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報

〈9月理事会〉 9/7 於：中幡小学校

議長：遠藤 香 (国立・国立第三小)

○会長挨拶

○議 事

- 9・10月の行事予定について
- 平成29年度 総武ゾーン大会について
- 平成30年度 都小音研 研究大会について
- 第54回児童作曲コンクールについて
- 東日本小管研 管楽器フェスティバルについて
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報

〈10月理事会〉 10/19 於：中幡小学校

議長：山浦 冬尉 (東大和・第七小)

○会長挨拶

○議 事

- 11月の行事予定について
- 平成29年度 総武ゾーン大会について
- 平成30年度 都小音研 研究大会について
- 第54回児童作曲コンクールについて
- 東日本小管研 管楽器フェスティバル 東京都代表出演校について
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会 長 早川 修一

編 集：広報部

印 刷：コウシン 03-3324-9288

